

平成 21 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 イー・アクセス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 深田 浩仁  
(コード番号 9427 東証第一部)  
問合せ先 広報室長 五十嵐 尚  
(TEL. 03-3588-7690)

会 社 名 株式会社アッカ・ネットワークス  
代表者名 代表取締役社長 須山 勇  
(コード番号 3764 JASDAQ)  
問合せ先 財務経理部長 本多 誠一  
(TEL. 03-4335-3727)

## 合併に関するお知らせ

イー・アクセス株式会社（以下「イー・アクセス」といいます。本社：東京都港区、代表取締役社長：深田浩仁）と株式会社アッカ・ネットワークス（以下「アッカ」といいます。本社：東京都千代田区、代表取締役社長：須山勇）は、本日開催のそれぞれの取締役会において、下記のとおり合併を実施することとし、合併契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 合併の目的

イー・アクセスは、創業以来、「すべての人に新たなブロードバンドライフを」という企業理念を掲げ、イー・アクセスグループとして DSL と ISP (AOL) という既存事業による安定した財務基盤のもと、機動的かつ積極的な経営戦略を進めて参りました。具体的には、携帯電話事業を次の事業の柱として打ち立て、ブロードバンドの世界で固定通信とモバイル通信の融合を図っております。

一方、アッカは、イー・アクセスと同じ個人向けのブロードバンド接続サービスに加え、企業に対するインターネットや企業ネットワークなどへのブロードバンドアクセスの提供と、そのために必要なユーザーサポートを事業領域としています。

両社を取り巻く事業環境において FTTH (光) の急速な台頭は事実であり、このところの市場統計数値に表れる DSL 加入者数が都市部を中心に鈍化・減少傾向にあることも否定できませんが、料金格差、導入の容易性、サービス地域の広さ等々、いまだ DSL の優位点は多く、また、低速サービスである多くのダイヤルアップ接続のユーザーは、より高速・定額の DSL サービスの潜在顧客として捉えることができます。このような環境の下、イー・アクセスやアッカ等の DSL ホールセール事業者は、可能な限り一体となって、モバイル等との新たなバンドルサービスの提供や新しいユーザー層の開拓をすすめて加入者の獲得を行い、収益の増大を図るとともに、協調したコスト削減を推進して経営基盤を強化することが重要であることに疑いの余地はありません。

そのような経営環境の下において、イー・アクセス及びアッカは、平成 20 年 7 月 31 日、「出資及び資産譲渡契約書」、「DSL 資産使用契約書」及び「業務委託契約書」を締結して、業務・資本提携に正式合意し、具体的な一歩を踏み出しました。その合意に基づき、アッカは、平成 20 年 8 月 15 日、

イー・アクセスに対して第三者割当の方法により普通株式 61,790 株を発行し、割当てを受けたイー・アクセスがアッカの発行済株式総数の 45.10%を保有するに至ったことから、アッカはイー・アクセスの連結子会社となっております。さらに、両社は、平成 20 年 9 月 1 日、イー・アクセスからアッカへ一定の事業資産を譲渡し、相互に関連する業務委託を行うなど緊密な事業提携を開始いたしました。また、現在は、イー・アクセスの指名した候補者 6 名（坂田大、深田浩仁、小林英夫、エリック・ガン、飯田さやか及び石田雅之の各氏）がアッカの臨時株主総会の決議を経てアッカの取締役役に選任されており、うち 1 名（坂田大氏）は代表取締役としてその任に当たっております。

さらに、上記の業務・資本提携以降、具体的な事業提携の詳細設計が急速に進む一方、イー・アクセス及びアッカは、当初事業提携の対象外としていた営業・マーケティング部門や間接部門の統合のもたらす大きなシナジー効果とその実現の必要性を再認識するに至りました。加えて、平成 20 年 10 月には、サブプライム問題から生じた国際金融危機の増幅と株式市場の大混乱に対して、両社の独立性を維持しながらそれぞれ経営効率の向上を図るという当初の業務提携の枠組みを超えて取りうる全ての企業価値向上策を迅速に発動すべきであるとの判断に基づき、イー・アクセスは、アッカの株式の追加取得により両社の一体的な経営を早期に実現するため、平成 20 年 10 月 30 日から同年 11 月 28 日までの期間に公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を行い、その結果、平成 20 年 12 月 31 日現在、アッカの発行済株式総数の 88.06%（議決権割合では 88.91%）を保有するに至りました。

イー・アクセス及びアッカは、本公開買付けの実施に際して公表していたとおり、両社の経営統合によるシナジーの最大化を図るために、本公開買付け終了後も詳細な協議及び検討を進め、また、原価の削減、人事交流、オフィス統合等を実施して参りましたが、今般、合併による両社の完全な経営統合を実現することが営業力の強化及び徹底したコスト削減による事業の収益力の維持・向上、ひいては両社の企業価値の最大化を実現する上で最善の選択であるとの判断に至り、本合併を実施することいたしました。

#### 【上場廃止となる見込み及びその事由】

本合併契約がアッカの定時株主総会（平成 21 年 3 月 27 日開催予定）にて承認された場合、アッカの普通株式は、株式会社ジャスダック証券取引所（以下「ジャスダック証券取引所」といいます。）の定める株券上場廃止基準に従い、平成 21 年 6 月 19 日付で上場廃止（最終売買日は上場廃止日の前日となります。）となる予定です。

上場廃止後は、ジャスダック証券取引所においてアッカの普通株式を取引することはできません。

#### 【上場廃止を目的とする理由及び代替措置の検討状況】

本合併は、上記の通り、イー・アクセスがアッカを吸収合併することによって、相互にシナジー効果を実現することを目的としており、アッカの普通株式の上場廃止自体を目的とするものではありませんが、本合併によりアッカが解散することになるため、アッカの普通株式は、ジャスダック証券取引所の株券上場廃止基準に従い、上場廃止となる予定です。

本合併の対価であるイー・アクセスの普通株式は、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）に上場されておりますので、イー・アクセス普通株式を保有することとなるアッカの株主の皆様には、本合併後においても、割り当てられるイー・アクセスの普通株式について引き続き東京証券取引所において取引を行う機会が確保されております。また、本合併はイー・アクセス及びアッカの企業価値の向上を図るものであるため、イー・アクセス及びアッカは、今後、イー・アクセスの普通株式を保有することとなるアッカの株主の皆様を含め、イー・アクセスの株主の皆様のご期待にお応えできるものと考えております。

#### 【公正性を担保するための措置】

イー・アクセスがアッカの議決権の 88.91%（平成 20 年 12 月 31 日現在）を所有しており、またアッカの取締役の過半数を指名していることから、本合併の条件及び必要な手続についての公正性・妥当性を確保するため、慎重な手続を経る必要があると判断いたしました。

具体的には、まず、両社は、それぞれ両社から独立した第三者算定機関かつファイナンシャル・アドバイザーを選定しました。第三者算定機関かつファイナンシャル・アドバイザーとして、イー・アクセスは日興コーディアル証券株式会社（以下「日興コーディアル証券」といいます。）に、アッカの取締役会は株式会社ラザードフレール（以下「ラザードフレール」といいます。）にそれぞれ合併比率の算定を依頼し、その結果を受領いたしました。両社は、いずれも、第三者算定機関かつファイナンシャル・アドバイザーからフェアネスオピニオンを取得していません。

また、アッカの取締役会は、本合併に関して、ラザードフレールより財務的見地からの助言を取得し、アーンストアンドヤング・トランザクション・アドバイザー・サービス株式会社（以下「アーンストアンドヤング・トランザクション・アドバイザー・サービス」といいます。）より会計・税務の見地からの助言を得、さらに、本合併の検討プロセス等について、法務アドバイザーである森・濱田松本法律事務所より法的な観点からの助言を得て、それらの内容を参考にしております。

#### 【利益相反を回避するための措置】

イー・アクセスは、本合併の決定プロセス及び決定において、利益相反を回避するための特段の措置を講じておりません。

一方、アッカの代表取締役社長は、平成 21 年 1 月 29 日、イー・アクセス及び本合併に特別の利害関係を有しない社外取締役である山岡法次氏及び山本宏義氏に対して、アッカの取締役会の意思形成過程の公正性を担保するために、取締役会に意見を提出するよう依頼し、山岡法次氏及び山本宏義氏は、平成 21 年 2 月 12 日、アッカの取締役会に対して、本合併に関する取締役会の判断は、公正かつ適正なプロセスを経て行われており、合理的なものであるとの意見を提出しています。

アッカは、イー・アクセスより本合併に関する提案を受けてから複数回にわたりイー・アクセスとの協議・交渉を重ねた上で、平成 21 年 2 月 12 日開催の取締役会において、本合併の条件、アッカの経営状況及びアッカを取り巻く経営環境、そして本合併による企業価値向上の可能性及び確実性、ラザードフレール、アーンストアンドヤング・トランザクション・アドバイザー・サービス及び森・濱田松本法律事務所からの助言並びに山岡法次氏及び山本宏義氏からの本合併に関する取締役会の判断が合理的である旨の意見等を勘案した上で、本合併に係る合併契約を締結することを出席取締役全員の一致をもって決定いたしました。

なお、アッカの取締役のうち、深田浩仁氏、小林英夫氏、エリック・ガン氏及び飯田さやか氏はイー・アクセスの代表取締役、取締役又は執行役員を兼務しており、石田雅之氏はイー・アクセスの持分法適用会社であるイー・モバイル株式会社の執行役員を兼務しておりますので、利益相反回避の観点から、これらの 5 名はアッカの取締役会の本合併に関する審議及び決議には参加しておらず、また、アッカの立場においてイー・アクセスとの協議・交渉に参加しておりません。さらに、アッカの代表取締役である坂田大氏は、現時点においてはイー・アクセスを退社しておりますが、平成 20 年 10 月 1 日にイー・アクセスの指名する者の 1 名としてアッカの代表取締役に就任していることから、アッカと利益が相反する可能性が否定できないため、アッカの取締役会の本合併に関する審議及び決議には参加しておらず、また、アッカの立場においてイー・アクセスとの協議・交渉に参加しておりません。

さらに、当該取締役会に出席した社外監査役を含むアッカの監査役は、アッカの取締役会が本合併契約の締結を決定することに異議がない旨の意見を述べております。なお、アッカの監査役のうち、後藤征男氏は、イー・アクセスの監査役を兼務しておりますので、利益相反回避の観点から、アッカの取締役会における本合併に関する決議に関して意見を述べることを差し控えております。

## 2. 合併の要旨

### (1) 合併の日程

合併決議取締役会（両社）	平成 21 年 2 月 12 日（木）
合併契約締結（両社）	平成 21 年 2 月 12 日（木）

合併承認時株主総会（アッカ）	平成 21 年 3 月 27 日（金）（予定）
合併比率決定日	平成 21 年 6 月 5 日（金）（予定）
最終売買日（アッカ）	平成 21 年 6 月 18 日（木）（予定）
上場廃止日（アッカ）	平成 21 年 6 月 19 日（金）（予定）
合併予定日（効力発生日）	平成 21 年 6 月 25 日（木）（予定）

（注）イー・アクセスは、会社法第 796 条第 3 項（簡易合併）の規定に基づき、同法第 795 条第 1 項の株主総会の承認を受けずに本合併を行う予定です。

## （2）合併方式

イー・アクセスを存続会社とする吸収合併方式で、アッカは解散します。

## （3）合併に係る割当ての内容

イー・アクセスは、本合併に際して、効力発生日前日の最終のアッカの株主名簿に記載又は記録された株主（イー・アクセス及びアッカ並びに会社法第 785 条の規定に基づきその有する株式の買取りを請求したアッカの株主を除きます。）に対し、その所有するアッカの普通株式の数に合併比率を乗じて得られる数のイー・アクセスの普通株式を割り当て交付します。

上記の合併比率とは、以下の数式により算出される比率をいいます。ただし、合併比率は、小数点第 3 位まで算出し、その小数点第 3 位を四捨五入します。

$$\text{合併比率} = 120,000 \text{ 円} / \text{イー・アクセス普通株式平均株価}$$

なお、「イー・アクセス普通株式平均株価」とは、東京証券取引所における、平成 21 年 5 月 25 日（同日を含みます。）から平成 21 年 6 月 5 日（同日を含みます。）までの各取引日のイー・アクセス普通株式の売買高加重平均価格の単純平均値をいいます。

（注）イー・アクセスが上記に従ってアッカの株主に交付するイー・アクセスの普通株式の数に一株に満たない端数がある場合、会社法第 234 条その他の関係法令の規定に従って金額をお支払いいたします。

## （4）合併に係る割当ての内容の算定根拠等

### ①算定の基礎及び経緯

イー・アクセス及びアッカは、合併比率の算定の公正性を担保するため、それぞれ両者から独立した第三者算定機関かつファイナンシャル・アドバイザーとして日興コーディアル証券及びラザードフレールを選任し、合併比率の算定を依頼しました。

また、合併比率の算出方法に関し、イー・アクセス及びアッカは、イー・アクセス普通株式の価格変動リスクを回避できることなどを考慮し、上記（3）記載のとおり、アッカ株主が受領できる合併対価（アッカ株式 1 株につき、120,000 円に相当するイー・アクセス普通株式）を合併契約締結時に確定して合併比率を算出する方法を採用いたしました。

イー・アクセス及びアッカは、アッカの株式価値については、それぞれの第三者算定機関かつファイナンシャル・アドバイザーによる算定結果を参考として、本合併と本公開買付けは一連の取引であること、本公開買付けにおける買付価格（以下「本公開買付価格」といいます。）が 1 株当たり 120,000 円であったこと、イー・アクセスの平成 20 年 10 月 29 日付「子会社である株式会社アッカ・ネットワークス株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」及びアッカの同日付「当社株券等に対する公開買付けに関する賛同意見表明のお知らせ」において、本合併におけるアッカ株式の評価については、特段の事情がない限り、本公開買付価格と同一の価格とする予定である旨を公表していること、本公開買付けが終了してから本日までの間にアッカの株式価値に重大な影響を及ぼす特段の事情は生じていないこと、少数株主保護及び株主間の公平性等を総合的に勘案し、協議・交渉を重ねた結果、1 株 120,000 円とすることが妥当と判断いたしました。

他方、イー・アクセスの株式価値については、本合併の効力発生日直前の株価によることが上記

(3) 記載の合併比率の算出方法に適合するものと考えられますが、株式等振替制度上の事務対応のため一定の期間を効力発生日前に設ける必要があること及び特定の取引日における過度の株価変動による影響を避ける必要があること等を考慮し、上記(3)記載の期間における各取引日の売買高加重平均価格の単純平均値とすることが妥当と判断いたしました。

なお、合併比率の算定の基礎となるアッカの株式価値に関するイー・アクセス及びアッカそれぞれの第三者算定機関かつファイナンシャル・アドバイザーによる算定結果の概要は以下のとおりです。

日興コーディアル証券は、イー・アクセス取締役会が本公開買付けに係る買付価格を決定する際の参考資料として、平成20年10月27日付でアッカ株式に係る「株式価値算定書」をイー・アクセス取締役会に提出しております。

今般、日興コーディアル証券は、イー・アクセスの依頼により、イー・アクセス取締役会が本合併に係る合併比率を決定するに際し、イー・アクセスを通じて提出を受けたアッカの事業計画の分析・検討並びにイー・アクセス及びアッカに対するヒアリング等を追加的に実施いたしました。その結果、平成20年10月27日付でイー・アクセス取締役会に提出した「株式価値算定書」の算定結果の修正を必要とする重大な事項・事象は確認されませんでした。

したがって、日興コーディアル証券は、平成20年10月27日付「株式価値算定書」が現時点においても日興コーディアル証券の算定書として有効である旨の報告書を平成21年2月12日付でイー・アクセスに対して提出しております。

なお、イー・アクセスは、日興コーディアル証券その他の評価機関からフェアネスオピニオンの取得は行っており、日興コーディアル証券は本合併における合併比率の公正性又は妥当性について意見を表明するものではありません。

一方、ラザードフレールは、本公開買付けの検討に際して、アッカより提出された財務予測を基礎として株式価値の分析を行い、平成20年10月29日付でアッカ取締役会へ株式価値算定書を提出しております。ラザードフレールはアッカより、本公開買付けの後、かかる財務予測に特段の変更は無い旨の説明を受け、平成20年10月29日にアッカへ提出した株式価値算定書における評価は変更ない旨の報告書を、平成21年2月12日付でアッカに対して提出しております。

なお、アッカは、ラザードフレールその他の評価機関からフェアネスオピニオンの取得は行っており、ラザードフレールは本合併におけるアッカの1株当たりの株式価値又は合併比率の公正性もしくは妥当性について意見を表明するものではありません。

(注) ラザードフレールの報告書は、専ら、アッカの取締役会の利益のために同取締役会に使用されることを意図しており、アッカ株主への推奨を意図するものでも、推奨を構成するものでもありません。報告書を作成するにあたっては、ラザードフレールはアッカの将来業績見通しに関するアッカの報告、予測及び予想を含むアッカから提供を受けた情報及び公開されている入手可能な情報に依拠しています。ラザードフレールは、かかる情報が正確かつ完全であることに依拠し、そのような情報について独自の検証を一切行っており、またその責任を負うものでもありません。

## ②算定機関との関係

算定機関である日興コーディアル証券及びラザードフレールは、いずれもイー・アクセス又はアッカの関連当事者には該当いたしません。

## (5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

アッカは、効力発生日までに、発行済みの新株予約権を全て無償で取得し、これを消却するものとします。

なお、アッカは、新株予約権付社債を発行していません。

3. 合併当事会社の概要（平成 20 年 12 月 31 日現在）

(1) 商号	イー・アクセス株式会社	株式会社アッカ・ネットワークス
(2) 事業内容	電気通信事業	電気通信事業
(3) 設立年月日	平成 11 年 11 月 1 日	平成 12 年 3 月 15 日
(4) 本店所在地	東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 1 号 新日鉱ビル	東京都千代田区有楽町 1 丁目 12 番 1 号 新有楽町ビル
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 深田 浩仁	代表取締役社長 須山 勇
(6) 資本金	18,365 百万円	16,693 百万円
(7) 発行済株式数	普通株式 1,417,729 株 第 1 種優先株式 25 株	174,222 株
(8) 純資産	15,139 百万円（連結）	24,454 百万円（連結）
(9) 総資産	137,451 百万円（連結）	32,042 百万円（連結）
(10) 決算期	3 月 31 日	12 月 31 日
(11) 従業員数	588 名（連結）	237 名（連結）
(12) 主要取引先	イー・モバイル(株) KDD I (株)	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ <sup>®</sup> (株) (株)エヌ・ティ・ティ・イー・シー・コミュニケーションズ <sup>®</sup> KDD I (株)
(13) 大株主及び持株比率	モルガン・スタンレー証券(株) 9.91% 千本倅生 7.28% エリック・ガン 6.76%	イー・アクセス(株) 88.06%
(14) 主要取引銀行	(株)みずほ銀行	住友信託銀行(株) (株)みずほコーポレート銀行 (株)三菱東京UFJ銀行
(15) 当事会社間の関係等	資本関係	イー・アクセスは、アッカの普通株式 153,427 株(所有割合 88.06%) を所有しております。
	人的関係	イー・アクセスの代表取締役 2 名、取締役 1 名及び執行役員 1 名がアッカの社外取締役を兼務しております。また、イー・アクセスの監査役 1 名がアッカの社外監査役を兼務しております。平成 20 年 12 月 31 日時点でアッカよりイー・アクセスへ 26 名、イー・モバイルへ 35 名が出向しております。また、イー・アクセスよりアッカへ 8 名が出向しております。
	取引関係	イー・アクセスは、アッカとの間で、出資及び資産譲渡契約、DSL 資産使用契約及び業務委託契約等を締結しております。

	関連当事者への該当状況	アッカは、イー・アクセスの連結子会社であり、関連当事者に該当します。
--	-------------	------------------------------------

## (16) 最近3年間の業績

(単位：百万円)

決算期	イー・アクセス株式会社 (存続会社、連結)			株式会社アッカ・ネットワークス (消滅会社、連結)		
	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期	平成18年 12月期	平成19年 12月期	平成20年 12月期
売上高	60,353	56,250	67,564	38,829	35,079	29,977
営業利益	9,375	1,049	7,092	1,880	1,991	2,600
経常利益	7,531	▲1,564	▲8,365	1,908	1,909	2,567
当期純利益	5,020	909	▲6,351	1,061	1,475	1,703
1株当たり当期純利益(円)	3,661.19	631.82	▲4,396.36	8,546.36	11,867.32	12,422.54
1株当たり配当金(円)	1,300	1,800	2,300	5,000	5,000	7,500
1株当たり純資産(円)	24,281.66	21,386.61	13,291.57	140,737.63	145,128.40	141,701.89

## 4. 合併後の状況

(1) 商号	イー・アクセス株式会社
(2) 事業内容	電気通信事業
(3) 本店所在地	東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 新日鉱ビル
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 深田 浩仁
(5) 資本金	18,365百万円(予定)
(6) 総資産	現時点では確定していません。
(7) 純資産	現時点では確定していません。
(8) 決算期	3月31日

## (9) 会計処理の概要

本合併に関する会計処理は、「企業結合に係る会計基準」(企業会計審議会 平成15年10月31日)に規定する「共通支配下取引等」に該当する見込みです。なお、のれんの金額につきましては、現時点では確定していません。

(10) 今後の見通し

イー・アクセスはアッカを既に連結子会社としており、本合併がイー・アクセスの連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

以 上